亦方

まきのしさをせすりてくミてうとんかへ
鳥の毛を常にひつせよ水をよさいくふき
らほこりたゝくへし

五餅うしと云同茶のこす
かしため鳥の毛たまこをほしふし紙すりめて
あさところをとにして餅りつこ付へし
若くほれハ二つこ巻りしせしよ薬そへし
亦耳草を粉して女子のむ乳りて付
まゝ髪のむしをまろ付へし